

製品安全データシート

1. 製造者情報

整理番号: XL020201P

会社名: 萩原工業株式会社
 本社住所: 〒712-8502 岡山県倉敷市水島中通1丁目4番地
 工場住所: 〒719-0303 岡山県浅口郡里庄町浜中133-2
 担当部門: 合成樹脂事業部 製造部 里庄工場グループ
 担当者: 小合秀明
 電話番号: 0865(64)5800 FAX番号: 0865(64)5802
 作成: 2002年2月1日



2. 製品名(化学名、商品名)

PEラミクロス NATURAL (粘着テープ用PEラミネートクロス)

3. 物質の特定

単一製品・混合物の区分: 混合物

化学物質名	含有量(wt%)	化学式又は構造式	官報公示整理番号		CAS No.
			化審法	安衛法	
ポリエチレン	99.9	-(CH ₂ -CH ₂) _n -	6-1	整理番号なし	9002-88-04
その他	0.1				

国連分類: 危険物に該当しない 国連番号: なし

PRTR法該当物質と安衛法該当物質の含有割合

PRTR法		安衛法 別表第9		含有量(wt%)	CAS No.
種別	号	指定化学物質名	号	通知対象物質名	
該当しない		該当しない			

4. 危険有害性の分類

- 分類の名称: 分類基準に該当しない。
 危険性: なし
 有害性: 使用される原料の有害性は報告されていない。有害性はないと思われる。
 環境影響: 環境影響はないと思われる。

5. 応急措置

- 眼に入った場合: 清浄な水で充分に洗い流した後、医師の診断を受ける。
 皮膚に付着した場合: 特別な処置は不要であるが、異常を感じるようであれば石鹼水で洗い、医師の診断を受ける。
 吸入した場合: うがいをし、出来るだけ吐かせる。喉頭痛等の症状が有る場合は、速やかに医師の診断を受ける。
 飲み込んだ場合: 特別な処置は不要であるが、大量の場合は直ちに吐き出させ、異常を感じるようであれば医師の手当を受ける。

6. 火災時措置

- 消火方法: 火元への燃焼源を断ち、風上から消火剤を使用して消火する。
 水噴霧により周辺の建物等を冷却する。
 空気呼吸器、防火服、防災面等の保護具を着用する。
 付近の着火源と成りそうな物を速やかに取り除く。飛散物を集め、回収する。
- 消火剤: 水、泡消火剤(エアフォーム)、二酸化炭素、粉末消火剤、乾燥砂

7. 漏出時の措置

掃き集め空容器に回収し、指定の廃棄物処分法にて処分する。

8. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い: 火気厳禁とする。
 保管: 直射日光、高温、多湿を避け、換気の良い屋内で保管する。
 保管場所周辺は火気厳禁とする。

9. 暴露防止措置

管理濃度	設定されていない。
許容濃度	日本産業衛生学会とACGIHはともに許容濃度を定めていないが、次の値を採用するのが妥当と考えられる。
	・ACGIH(米国産業衛生専門会議)勧告値/1998年 一般粉塵(Particulates Not Otherwise Classifie=PNOC)としての許容濃度(TWA) Inhalable Particulate 10mg/m ³ Respirable Particulate 3mg/m ³
	・日本産業衛生学会/1998年 第3種粉塵としての許容濃度 総粉塵 8mg/m ³ 吸入性粉塵 2mg/m ³
設備対策	粉塵又は加熱溶融等で蒸気、ガスが発生する場合は局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに緊急用洗顔器及び安全シャワーを設置し、その場所を明瞭に表示する。装置等に静電気防止処置を行う。
保護具	呼吸用保護具 : 粉塵が発生する場合は防塵マスク、又溶解等で蒸気ガスが発生する場合は有機ガス用防毒マスクを着用する。 保護眼鏡 : サイドシール付き安全眼鏡 保護手袋 : 革製手袋、軍手等 保護衣 : 溶解時等では火傷をしない様な服装(長袖等)が必要。

10. 物理・化学的性状

外観等	固体		
沸点	なし(分解)	蒸気圧	なし(固体)
融点	110~130 °C	比重	データなし
溶解度	水に不溶。PEはトルエン、キシレン等の有機溶剤に可溶。		

11. 危険性情報

引火点	345°C	発火点	345°C付近
可燃性	あり(消防法指定可燃物)		
発火性(自然発火、水との反応性)	なし		
酸化性	なし		
自己反応性・爆発性	なし		
粉じん爆発性	粉塵は爆発性混合気を生成する場合がある。		
安定性・反応性	通常の取扱い及び保管状態では安定で、反応性はない。		

12. 有害性情報

皮膚腐食性	なし
刺激性(皮膚・眼)	固体、粉塵は皮膚や眼に対し物理的な刺激がある。 加熱溶融時の蒸気、ガスは眼、呼吸器を刺激する。
感作性	データなし
急性毒素(50%致死量等)	ポリエチレンの生体に対する影響をみると、ラットの経口投与によるLD ₅₀ 算定が試みられたが、7.95g/kg以上の投与は実験操作上困難であり、またこの投与量では、なんら毒性の兆候は見られず体重増加も正常であり、組織病理学的検査でも異常は認められない。
亜急性毒素	データなし
がん原性	ポリエチレンはIARC(International Agency for Research on Cancer)の発がん性区分でグループ3(ヒトに対して発がん性について分類できない)に分類されている。
変異原性(微生物、染色体異常)	データなし
生殖毒性	データなし
催奇形性	データなし
その他	熱分解により有毒ガス(CO、CO ₂ 、炭化水素等)を発生する。

13. 環境影響情報

海洋生物、鳥類が摂取することを防止する為、いかなる海洋や水域でも投棄、放出してはならない。
分解性 : データなし
魚毒性 : データなし
蓄積性 : データなし

14. 廃棄上の注意

廃棄物は原則として、焼却又は埋立てによって処理する。

(1) 焼却する時は、焼却設備を用いて大気汚染防止法等に適合した処理を施し焼却する。

(2) 埋立てる時は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って処理をする。

15. 輸送上の注意

水濡れや乱暴な取扱いは避ける。また、積み込みの際には転倒、落下、損傷が無いようにし、荷崩れ防止を確実に行う。

16. 適用法令

消防法 法令第1条の12別表第4指定可燃物 合成樹脂類

労働安全衛生法

化学物質管理促進法(PRTR法)

注) _____ 項目:記載必須項目

◆お願い◆

- * 本「製品安全データシート」は、当社の製品を安全にご使用戴くために、必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたものです。
- * 記載内容のうち、含有量、構成比率、物理化学的性質などの値は代表値であり、保証値ではありません。
- * ここに記載された内容は、当社所有の情報、文献等によるものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。また、内容は新しい知見に基づき改訂されることがあります。
- * 本品の取り扱いは、通常的な取り扱いを対象としたものです。本品の適正に関する決定は使用者の責任において行って下さい。
- * 需要家の皆様の使用条件は弊社の管轄外の事項となりますので、取り扱いには十分注意ください。

作成日 2004年04月20日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

会社名 : 東洋インキ製造株式会社
 担当部門 : 塗料樹脂事業部
 住所 : 東京都中央区京橋 2-3-13
 電話番号 : 03-3272-0856
 FAX番号 : 03-3272-0892

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物製品
 一般名 : アクリル系感圧性接着剤

成分名	含有量	官報公示No. (化審法)	CAS No.	PRTR法 該当物質	安衛法 通知対象
アクリル酸エステル系共重合物	40-50	既存	既存	—	—
酢酸エチル	20-30	2-726	141-78-6	—	○
トルエン	13	3-2	108-88-3	○	○
イソプロピルアルコール	10-20	2-207	67-63-0	—	○

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性

有害性 : 健康に有害の恐れがある。

物理的及び化学的危険性 : 非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

主要な徴候 : 高濃度蒸気の暴露により吐き気、頭痛、めまいを生じる恐れがある。

分類の名称 (分類基準は日本方式) : 引火性液体, 急性毒性物質

4. 応急措置

吸入した場合 :

蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かくして安静にする。

呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。

嘔吐物は飲み込ませないようにする。

医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 :

付着物を布にて素早く拭き取る。大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しない。外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受ける。

目に入った場合 :

直ちに大量の清浄な流水で15分以上、まぶたの裏まで完全に洗う。出来るだけ早く医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 :

誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける。嘔吐物は飲み込ませない。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水を消火に用いてはならない。炭酸ガス、泡、粉末

特定の消火方法 :

可燃性のものを周囲から素早く取り除く。高温にさらされる密閉容器は霧状の水を掛けて冷却する。

消火を行う者の保護 :

適切な保護具 (耐熱性着衣など) を着用する。消火活動は風上より行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 :

- 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
- 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をする。
- 漏出した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。
- 衝撃による火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

環境に対する注意事項 :

- 製品や洗浄水を乾燥砂、土、ウエス、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

除去方法 :

- 製品や洗浄水が漏出した場合は土砂等で、その流れを止め、安全な場所に導き、密閉可能な空容器に出来るだけ回収する。

二次災害の防止策 :

- 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を用意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 :

- 局所排気内、又は全体排気の設備のある場所で取扱う。
- 周辺ではスパーク発生の防止、火気、高温物の使用を禁止する。
- 使用済みウエスは廃棄するまで、フタ付きの金属製容器に収納する。
- 静電気対策の為の装置等はアースを取り、作業者は帯電防止型の作業服、靴を着用する。
- 工具は火花防止型のものを使用する。
- 電気機器類は防爆型（安全増型）を使用する。
- 液体類の移送や攪拌等を行なう装置についてはアースを取るように設備する。
- 取り扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とする。
- 密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を付けて作業する。

注意事項 :

- 吸い込んだり、眼、皮膚に触れないように必要に応じて適切な保護具を着用する。

保管

適切な保管条件 :

- 高温、火気、多湿、水ぬれ、直射日光を避けて、常温にて屋内倉庫に保管する。
- 火気、熱源から遠ざけて保管する。

安全な容器包装材料 :

- 特記事項なし

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 :

- 全体または局所排気装置を用いる。
- 屋内作業の場合は、作業者が直接曝露されない設備とするか、局所排気等により作業者が曝露から避けられるような設備とする。

管理濃度・許容濃度

化学物質の名称	管理濃度	日本産業衛生学会	ACGIH (TWA)
酢酸エチル	400ppm	200ppm	400ppm
トルエン	50ppm	50ppm	50ppm
イソプロピルアルコール	400ppm	400ppm	400ppm

保護具

呼吸器用の保護具 :

- 有機ガス用防毒マスクを着用する。

手の保護具 :

- 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

目の保護具 :

保護メガネを着用する。

皮膚及び身体の保護具：

化学薬品が浸透しない材質のエプロン等を着用する。皮膚を直接曝露させないような長袖等の衣類および安全靴を着用する。

適切な衛生対策：

マスク等の吸着剤の交換は定期又は使用の都度行う。

9. 物理的及び化学的性質

製品の物理的及び化学的性質

物理的状態

形状：粘性液体

色：無色透明

臭い：溶剤臭

物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲

沸点：77°C (酢酸エチル)

引火点：-2.5°C (タグ密閉式)

発火点：427°C (酢酸エチル)

爆発特性 爆発限界 下限：1.2% (トルエン)

上限：12% (イソプロピルアルコール)

蒸気圧：10000Pa (20°C) (酢酸エチル)

密度：データなし

溶解性

溶媒に対する溶解性：有機溶剤に可溶

水に対する溶解性：不溶

10. 安定性及び反応性

安定性：常温、常圧で安定。

反応性：水との反応性はない。

避けるべき条件：高温

避けるべき材料：溶剤に可溶な材料

危険有害な分解生成物：燃焼等によりCO、NOX等の有害ガスが発生する恐れがある。

11. 有害性情報

酢酸エチルの有害性情報

急性毒性（人体への影響）：

麻酔作用があり、はなはだしい場合には急性肺水腫を起こすことがある。

急性毒性（動物実験等）：

経口（ラット） LD50 : 5620mg/kg

経皮（ウサギ） LD50 : 20000ml/kg

吸入（マウス） LC50 : 45000mg/m³/2H

局所効果（刺激性（皮膚・眼））：

400ppmの暴露で、眼、鼻、のどに刺激作用がある。

トルエンの有害性情報

急性毒性（人体への影響）：

吸入すると頭痛、目まい、疲労、平衡障害などを起こすことがある。はなはだしい場合には、麻酔状態に陥り、意識を喪失することがある。

急性毒性（動物実験等）：

経口（ラット） LD50 : 636mg/kg

経皮（ウサギ） LD50 : 14100 μl/kg

吸入（ラット） LC50 : 49000mg/m³/4H

局所効果（刺激性（皮膚・眼））：

液体または蒸気は皮膚、眼、のどを刺激する。

皮膚に触ると脱脂作用がある。

発ガン性（IARC）：3

イソプロピルアルコールの有害性情報

急性毒性（人体への影響）：

麻酔作用があり、頭痛、めまい、吐き気を起こすことがある。

急性毒性（動物実験等）：

経口（ラット） LD50 : 5045mg/kg

経皮（ウサギ） LD50 : 12800mg/kg

吸入（ラット） LC50 : 16000ppm/8H

局所効果（刺激性（皮膚・眼））：

皮膚への刺激は比較的弱いが、繰り返し触ると炎症を起こすことがある。眼に入ると角膜を侵し、視力障害を起こすことがある。

発ガン性（IARC）：3

1.2. 環境影響情報

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川及び排水溝に流れないように対処する。

酢酸エチルの環境影響情報**残留性／分解性：**

水があれば、徐々に加水分解する。

生態性：

TLm 48 コイ 40ppm以上

TLm 3 ミジンコ 40ppm以上

トルエンの環境影響情報**残留性／分解性：**

化審法の既存化学物質の安全性点検結果では、生物分解の良好な物質に分類されている。

生態性：

TLm 48 コイ 40ppm以上

TLm 3 ミジンコ 40ppm以上

TLm 24 金魚 58ppm

イソプロピルアルコールの環境影響情報**生態性：**

TLm 48 コイ 13000ppm

TLm 3 ミジンコ 23000ppm

1.3. 廃棄上の注意

残余製品、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理を行う。

容器、機械装置等を洗浄した排水は、地面や排水溝へそのまま流さない。

廃水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託する。

特別管理産業廃棄物の廃油に該当する。特別管理産業廃棄物処理基準に基づき収集、運搬及び処分を行う。

1.4. 輸送上の注意

国連分類：当社担当部門にお問い合わせください。

国連番号：当社担当部門にお問い合わせください。

注意事項：

容器を積み重ねる場合には高さ3m以下とする。第一類、第六類の危険物及び高压ガス（一部を除く）とは混載できない。

指定数量以上の製品を車両で運搬する場合は、当該車両に総務省令で定められた標識を掲げて適正な消火器を備える。

消防法の危険等級IIに適応する運搬容器に収納して運搬する。

1.5. 適応法令

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）

労働安全衛生法：有機溶剤中毒予防規則第2種
労働安全衛生法危険物（引火性の物）
消防法 第4類 第一石油類 非水溶性液体 II
労働安全衛生法：第57条、表示物質
労働安全衛生法：第57条の2、施行令第18条の2別表第9名称等を通知すべき有害物（酢酸エチル、トルエン、プロピルアルコール）
化学物質管理促進法
第1種指定化学物質 トルエン 政令番号227

16. その他の情報

参考資料：

- ・日本化学会「製品安全性データシートの作成指針（改訂版）」
 - ・日本産業衛生学会
 - ・ACGIH
 - ・IARC
 - ・ICSC
 - ・ RTECS
 - ・既存化学物質安全性（ハザード）評価シート（独立行政法人 製品評価技術基盤機構）
-

* 「製品安全データシート」の記載内容は現時点入手できる資料、情報、データに基づいて作成していますが、法令の改正や新しい知見により改訂されることがあります。
本製品を取り扱う場合は記載内容を参考にして、使用者の責任において実態に即した安全対策を講じて下さい。
本データシートは、安全や品質の保証ではありません。

「製品安全データシート」は日本国内法を基に作成しています。海外に輸出する場合は各国の法規によって規制されますのでご注意ください。

作成日 2004年03月17日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

会社名 : 東洋インキ製造株式会社
 担当部門 : 塗料樹脂事業部
 住所 : 東京都中央区京橋2-3-13
 電話番号 : 03-3272-0856
 FAX番号 : 03-3272-0892

2. 組成、成分情報

单一製品・混合物の区分 : 混合物製品
 一般名 : 金属キレート系硬化剤

成分名	含有量	官報公示No. (化審法)	CAS No.	PRTR法 該当物質	安衛法 通知対象
金属アセチルアセトン錯塩	1-10	既存	既存	—	—
トルエン	85	3-2	108-88-3	○	○
メチルエチルケトン	10-20	2-542	78-93-3	—	○

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性

有害性 : 健康に有害の恐れがある。

物理的及び化学的危険性 : 非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

主要な徴候 : 高濃度蒸気の暴露により吐き気、頭痛、めまいを生じる恐れがある。

分類の名称 (分類基準は日本方式) : 引火性液体、急性毒性物質

4. 応急措置

吸入した場合 :

蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かくして安静にする。

呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。

嘔吐物は飲みませないようにする。

医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 :

付着物を布にて素早く拭き取る。大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しない。外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受ける。

目に入った場合 :

直ちに大量の清浄な流水で15分以上、まぶたの裏まで完全に洗う。出来るだけ早く医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 :

誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける。嘔吐物は飲みませない。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水を消火に用いてはならない。炭酸ガス、泡、粉末

特定の消火方法 :

可燃性のものを周囲から素早く取り除く。高温にさらされる密閉容器は霧状の水を掛けて冷却する。

消火を行う者の保護 :

適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。消火活動は風上より行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 :

作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をする。
漏出した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。
衝撃による火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

環境に対する注意事項 :

製品や洗浄水を乾燥砂、土、ウエス、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

除去方法 :

製品や洗浄水が漏出した場合は土砂等で、その流れを止め、安全な場所に導き、密閉可能な空容器に出来るだけ回収する。

二次災害の防止策 :

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を用意する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い****技術的対策 :**

局所排気内、又は全体排気の設備のある場所で取扱う。
周辺ではスパーク発生の防止、火気、高温物の使用を禁止する。
使用済みウエスは廃棄するまで、フタ付きの金属製容器に収納する。
静電気対策の為の装置等はアースを取り、作業者は帯電防止型の作業服、靴を着用する。
工具は火花防止型のものを使用する。
電気機器類は防爆型（安全増型）を使用する。
液体類の移送や攪拌等を行なう装置についてはアースを取るように設備する。
取り扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれれないような設備とする。
密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を付けて作業する。

注意事項 :

吸い込んだり、眼、皮膚に触れないように必要に応じて適切な保護具を着用する。

保管**適切な保管条件 :**

高温、火気、多湿、水ぬれ、直射日光を避けて、常温にて屋内倉庫に保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。

安全な容器包装材料 :

特記事項なし

8. 暴露防止及び保護措置**設備対策 :**

全体または局所排気装置を用いる。
屋内作業の場合は、作業者が直接曝露されない設備とするか、局所排気等により作業者が曝露から避けられるような設備とする。

管理濃度・許容濃度

化学物質の名称	管理濃度	日本産業衛生学会	ACGIH (TWA)
トルエン	50ppm	50ppm	50ppm
メチルエチルケトン	200ppm	200ppm	200ppm

保護具**呼吸器用の保護具 :**

有機ガス用防毒マスクを着用する。

手の保護具 :

有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

目の保護具 :

保護メガネを着用する。

皮膚及び身体の保護具 :

化学薬品が浸透しない材質のエプロン等を着用する。皮膚を直接曝露させないような長袖等の衣類および安全靴を着用する。

適切な衛生対策：

マスク等の吸着剤の交換は定期又は使用の都度行う。

9. 物理的及び化学的性質

製品の物理的及び化学的性質

物理的状態

形状：液体

色：淡黄色透明

臭い：溶剤臭

物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲

沸点：80°C (メチルエチルケトン)

引火点：2°C (タグ密閉式)

発火点：480°C (トルエン)

爆発特性 爆発限界 下限：1.2% (トルエン)

上限：11.5% (メチルエチルケトン)

蒸気圧：10500Pa (20°C) (メチルエチルケトン)

密度：データなし

溶解性

溶媒に対する溶解性：有機溶剤に可溶

水に対する溶解性：不溶

10. 安定性及び反応性

安定性：常温、常圧で安定。

反応性：水との反応性はない。

避けるべき条件：高温

避けるべき材料：溶剤に可溶な材料

危険有害な分解生成物：燃焼等によりCO、NOX等の有害ガスが発生する恐れがある。

11. 有害性情報

金属アセチルアセトン錯塩の有害性情報

急性毒性（人体への影響）：

データなし

急性毒性（動物実験等）：

経口（ラット） LD50 : 970mg/kg

局所効果（刺激性（皮膚・眼））：

データなし

トルエンの有害性情報

急性毒性（人体への影響）：

吸入すると頭痛、目まい、疲労、平衡障害などを起こすことがある。はなはだしい場合には、

麻酔状態に陥り、意識を喪失することがある。

急性毒性（動物実験等）：

経口（ラット） LD50 : 636mg/kg

経皮（ウサギ） LD50 : 14100 μl/kg

吸入（ラット） LC50 : 49000mg/m³/4H

局所効果（刺激性（皮膚・眼））：

液体または蒸気は皮膚、眼、のどを刺激する。

皮膚に触れると脱脂作用がある。

発ガン性（IARC）：

メチルエチルケトンの有害性情報

急性毒性（人体への影響）：

蒸気を吸入すると麻酔作用があり、頭痛、めまい、吐き気を起こすことがある。

急性毒性（動物実験等）：

経口（ラット） LD50 : 2737mg/kg

経皮（ウサギ） LD50 : 6480mg/kg
 吸入（ラット） LC50 : 23500mg/m³/8H
 局所効果（刺激性（皮膚・眼））：
 蒸気は、眼、鼻、のどの粘膜を刺激する。
 皮膚に繰り返し触ると、皮膚炎を起こすことがある。

1.2. 環境影響情報

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川及び排水溝に流れないように対処する。

トルエンの環境影響情報

残留性／分解性：

化審法の既存化学物質の安全性点検結果では、生物分解の良好な物質に分類されている。

生態性：

TLm 48	コイ	40ppm以上
TLm 3	ミジンコ	40ppm以上
TLm 24	金魚	58ppm

メチルエチルケトンの環境影響情報

残留性／分解性：

活性汚泥により容易に生分解する。

生態性：

TLm 48	コイ	1000ppm以上
TLm 3	ミジンコ	1000ppm以上
TLm 24	金魚	5000ppm以上

1.3. 廃棄上の注意

残余製品、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理を行う。

容器、機械装置等を洗浄した排水は、地面や排水溝へそのまま流さない。

廃水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託する。

特別管理産業廃棄物の廃油に該当する。特別管理産業廃棄物処理基準に基づき収集、運搬及び処分を行う。

1.4. 輸送上の注意

国連分類：当社担当部門にお問い合わせください。

国連番号：当社担当部門にお問い合わせください。

注意事項：

容器を積み重ねる場合には高さ3m以下とする。第一類、第六類の危険物及び高圧ガス（一部を除く）とは混載できない。

指定数量以上の製品を車両で運搬する場合は、当該車両に総務省令で定められた標識を掲げて適正な消火器を備える。

消防法の危険等級IIに適応する運搬容器に収納して運搬する。

1.5. 適応法令

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）

労働安全衛生法：有機溶剤中毒予防規則第2種

労働安全衛生法危険物（引火性の物）

消防法 第4類 第一石油類 非水溶性液体 II

労働安全衛生法：第57条、表示物質

労働安全衛生法：第57条の2、施行令第18条の2別表第9名称等を通知すべき有害物（トルエン、メチルエチルケトン）

化学物質管理促進法

第1種指定化学物質 トルエン 政令番号227

16. その他の情報

参考資料：

- ・日本化学工業協会「製品安全性データシートの作成指針（改訂版）」
- ・日本産業衛生学会
- ・A C G I H
- ・I A R C
- ・I C S C
- ・R T E C S
- ・既存化学物質安全性（ハザード）評価シート（独立行政法人 製品評価技術基盤機構）

* 「製品安全データシート」の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成していますが、法令の改正や新しい知見により改訂されることがあります。
本製品を取り扱う場合は記載内容を参考にして、使用者の責任において実態に即した安全対策を講じて下さい。

本データシートは、安全や品質の保証ではありません。

「製品安全データシート」は日本国内法を基に作成しています。海外に輸出する場合は各国の法規によって規制されますのでご注意ください。